

「G7広島サミット弁当供給センター設置運營業務」選定基準に基づく評価項目別の総合値

評価項目		近畿日本ツーリスト株式会社広島支店
1 業務処理体制に関する事項	① 履行能力 ・ 過去10年以内に1日当たり最大10,000食以上の弁当供給を伴う業務を履行した実績を有しているか。	35
	② 業務処理体制 ・ 仕様書に記載された業務の遂行に必要な業務処理体制を構築しているか。	38
	③ 弁当製造及び配送事業者との協力方針 ・ 必要となる数の弁当製造及び配送ができる体制となっているか。 ・ 想定数量を超えて弁当が必要となった場合の対処方法に実効性はあるか。 ・ より多くの県内事業者が弁当の製造及び配送に参画できる取組が考えられているか。	111
	④ 数量変更への対応力 ・ 急な数量変更に対応可能か。	8
	⑤ 弁当製造及び配送計画 ・ 弁当製造及び配送計画は無理なく実効性のあるものとなっているか。	34
	⑥ リスクマネジメント ・ 危機事案発生時の対応、代替案は無理なく実効性のあるものとなっているか。	35
	2 衛生管理に関する事項	① 衛生管理体制 ・ HACCPに沿った衛生管理の取組は有効かつ効率的なものとなっているか。
② 食品衛生検査指導基準 ・ 広島県が定める食品等の微生物検査指導基準の目標値の達成に向けた取組が徹底されているか。		34
3 食材及びメニューに関する事項	① 広島県産食材の活用 ・ 広島県産食材を品目・重量ともに十分に使用する予定となっているか。 ・ 弁当供給対象者に広島県産食材の使用が伝わる取組が考えられているか。	67
	② メニューの充実度 ・ バリエーションが多く飽きさせない工夫がされているか。	72
4 環境への配慮に関する事項	① 使用する容器及び附属品の素材、空容器等の回収頻度及び方法 ・ ワンウェイプラスチックの削減（リデュース）や代替素材の利用等3Rの取組は実効性のあるものとなっているか。 ・ 回収頻度・方法、処理は適切かつ効率的なものとなっているか。	66
	② 配送・回収時の運搬 ・ エコカーでの配送、エコドライブの実施など環境に配慮した取組が考えられているか。	34
	③ 回収された残渣・余剰弁当の処理 ・ 回収された残渣・余剰弁当が、可能な限り再生利用（飼料化・肥料化等）又は利活用される計画となっているか。	29
	④ 食品ロス削減に繋がる提案 ・ 食品ロス削減に繋がる実効性のある提案が考えられているか。	32
5 その他の独自提案に関する事項	・ 弁当供給業務をより良いものとする提案やサミット開催に対する支援協力等の提案が考えられているか。	35
合計		663